

当院におけるバスキュラ - ルア クセス管理方法について

両国東口クリニック つばさクリニック

鈴木浩太 千葉由紀子 宮城知徳

諸見里 仁 大山恵子 大山博司

はじめに

- バスキュラールアクセスは透析を行うために不可欠なものであり、患者にとって生命を支える重要なライフラインといえる。昨年、バスキュラールアクセス管理における発表での今後の課題であったバスキュラールアクセスストラブルにおける指標のバラツキの是正を試みたので報告する。

是正の試みのポイント

1. ブラッドアクセスの情報の共有化の強化で、トラブルにおける意識向上
2. バスキュラ - ルアクセスチェック表に項目を追加することで、観察項目に対する意識の向上を図る

当院におけるバスキュラ - ルアクセス ケアの内容

1. 血管超音波所見を使用したバスキュラ - ルアクセスカードの作成
2. バスキュラールアクセスの写真を撮影し治療施行部位の記載をする
3. 項目を新たに追加したバスキュラ - ルアクセスチェック表の実施

1 血管超音波所見を使用したバスキュラ - ル アクセスカードの作成

- 血管エコーの結果に穿刺時の注意事項を記載し、ラミネート加工をしてカードを作成する。

< 長所 >

- 検査された時点での具体的な血管情報が記載され、検査後に変化が新たに出現した場合は再度検査予定することができる
- 近くに動脈が走っている場合、穿刺危険部位としての認識をスタッフが共通認識できる

< 短所 >

- エコ - 上の情報が実際の血管で場所が分かりにくい場合がある

2 バスキュラーアクセスの写真を撮影

- 狭窄部位の存在、過去にPTAを施行している部位を写真に記載
- 半年毎に撮影を実施

< 長所 >

PTA施行の情報を実際の写真に記載することで確認がとりやすい

< 短所 >

半年毎の撮影で患者1人一枚のため、情報記載内容が限られる

3 - 2項目を新たに追加したバスキュラ - ル アクセスチェック表の実施

< 新たな項目 >

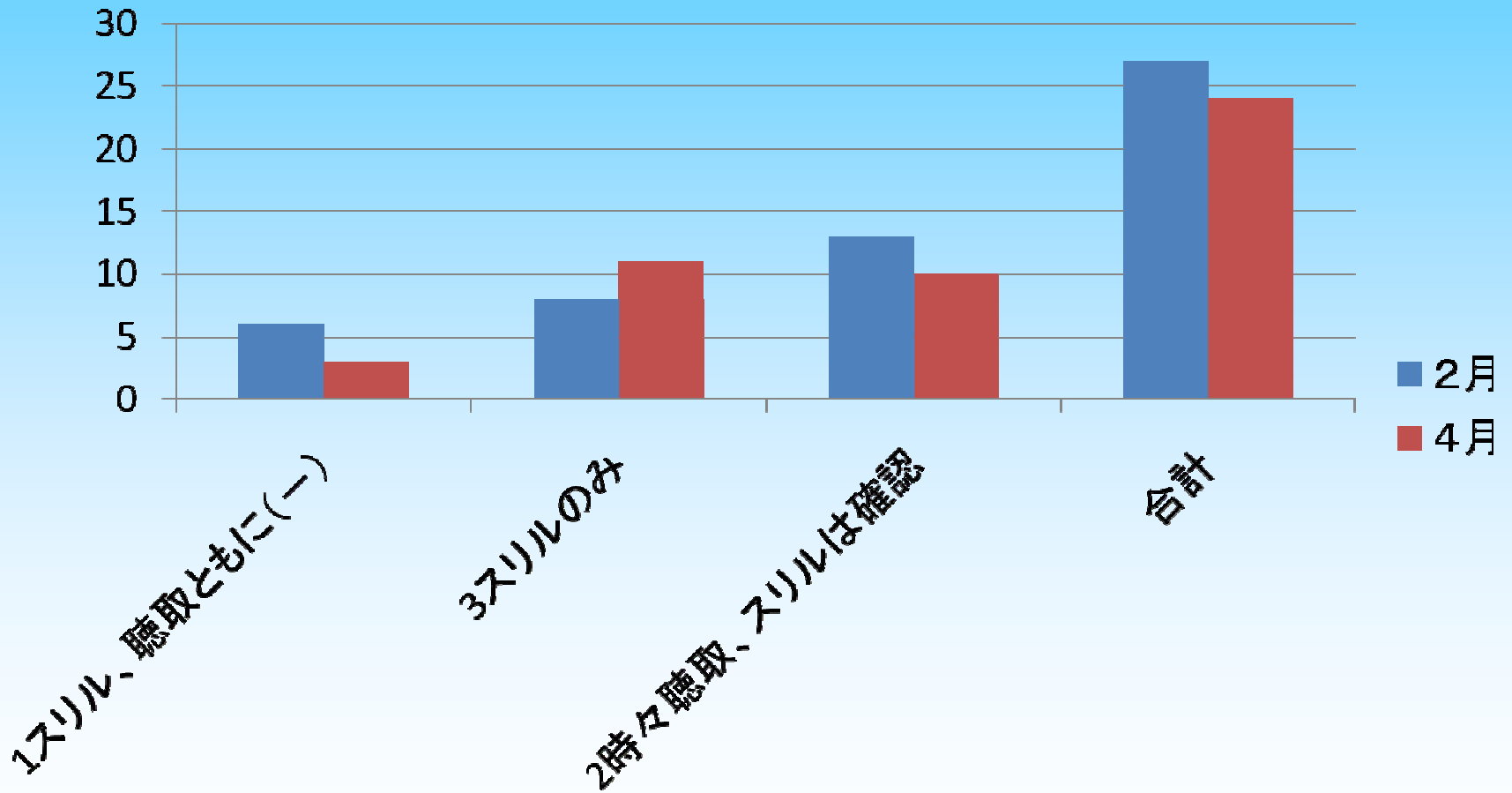
1. 新たにバスキュラールアクセスの音、スリルの確認を毎日行っているか
2. 皮膚の異常の有無の項目

3 - 1 項目を新たに追加したバスキュラ - ル アクセスチェック表の実施

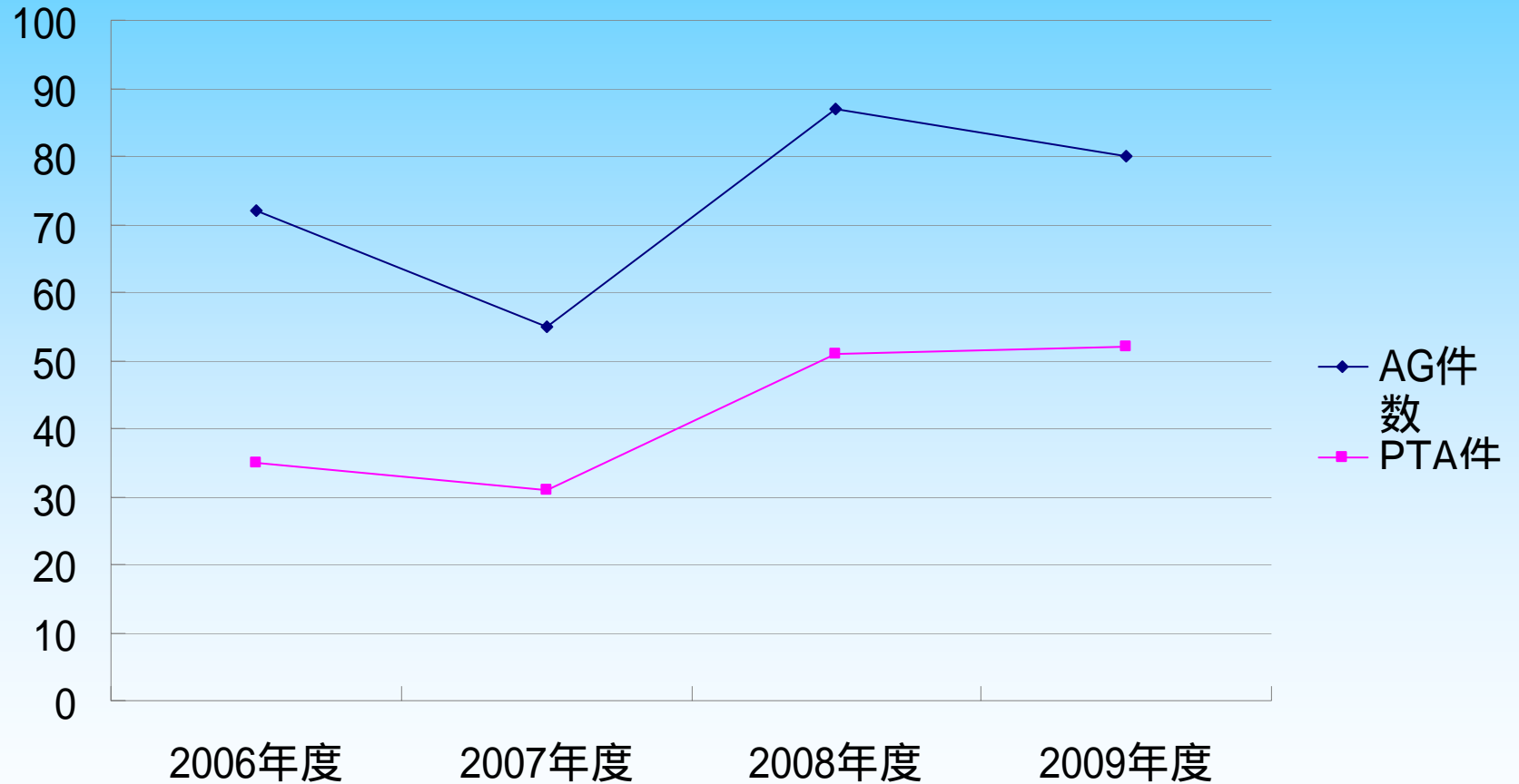
<理由>

1. トラブルの起きた患者において、トラブル前はどうか確認していなかったことがあったため、認識向上のため項目に追加。スタッフも患者が聴いているかどうか確認することに意識が持てるようにするため。
2. 皮膚の異常の有無を追加し、感染等のトラブルの原因の早期発見、予防の対処に対する意識向上を目的とした。

患者のバスキュラ - ルアクセス管理状況



処置件数の変化(2007年11月～バスキュラ - ルアクセス チェック開始)



結果・まとめ

バスキュラ - ルアクセスの情報を確認しやすくすることで、スタッフ間の患者情報の共有化につながり、医師への報告が増加するなど意識向上につながった

- 血管エコ - のラミネ - ト、バスキュラ - ルアクセスの写真を用いることで、穿刺における血管の選択がしやすくなった(例: 動脈走行している危険部位は避ける、血管径が細い等)
- チェック表の情報と実際の血管の情報のズレが減少した

結果・まとめ

- 患者から処置後、患者から「音良くなっている。毎日聴くようにしているよ。以前のような狭い時の音は聴かれないよ」という声が聞かれるようになり、バスキュラ - ルアクセス管理の自己管理の意識の向上に結び付き、トラブルの早期発見に繋がっている。
- 血管造影、血管拡張術の施行がチェック表施行後増加した

考察

今後もバスキュラールアクセスの管理においてスタッフ意識の向上、患者の管理意識の向上を図れるよう検討、修正を図っていきたいと考える。